

外来患者さんへ

「膵がん教室開催による患者への影響と効果の評価」 への協力をお願い

当院では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018年10月1日から2024年3月31日の期間に当院で膵がん教室に参加された方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2024年12月31日

研究目的・方法：

膵癌・胆道癌は診断期・治療期・終末期までの過程が短く、診断直後から治療が進み、意思決定が上手くできないまま最期を迎え、医療者と患者さんやその家族との間に病識のずれがあることがしばしばあります。当院では、診断から早期の段階で、患者さんとその家族に対し、膵癌・胆道癌の治療や抗がん剤治療の副作用の対処法やがん治療のサポート等について多職種から講義形式で情報提供を行う膵癌教室を2018年10月より開催しています。このような患者さんの教育を目的とした教室や講座が患者さんに与える影響については十分分かっていません。

そこで、膵がん教室の参加者された方に対して行ったアンケートについて評価し、膵がん教室が患者さんの疾患理解度やQOLに与える影響について検討を行います。

研究に用いる情報の項目：

以下の項目について、病院の診療録および患者さんに記入いただいたアンケートにより取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

- ・疾患情報（癌種類、性別、年齢、PS、ステージ、化学療法内容、化学療法効果）
 - ・QOL(FACT)
 - （身体症状・社会的家族の関係・精神的状態・活動状況・その他）
- ・記述式アンケート
 - （膵癌教室受講後の気持ちの変化、よかった点、改善して欲しい点、他に講義で聞きたい内容、感想その他）

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていたことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら、以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を

得ております。

また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

電話番号 058-230-7091

氏名：加藤 寛子

研究代表者

岐阜大学大学院医学系研究科消化器病態学

氏名：清水 雅仁

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel : 058-230-6059

E-mail : rinri@gifu-u.ac.jp